

岡山城三之外曲輪(旧弘西小)跡発掘調査現地説明会資料

20030705

発掘調査の目的

当地は、岡山城の外堀の一画にあたります。江戸時代の城下絵図や明治時代の堀埋立の記録等からも、旧弘西小学校敷地には外堀が埋まっていることは明らかでした。

この外堀は小早川秀秋が領国内の人夫や家中の者まで総動員して、二十日間で掘り上げたと伝承されています。長さ 2.4 km 余、幅は 25 ~ 33m 余あり、掘り上げた土で土塁を築いたとされています。明治時代の早い時期に埋め立てられたこともあり、護岸や堀断面形がどのようなであったのか詳細はわかっていませんでした。それら疑問点を調査によって明らかにすること、これが一点。

また当地周辺は、弘西の地名の由来である「ひろせの郷」の推定範囲地域でもあります。奈良・平安時代の建物や家、あるいは溝や水田跡が所在しているかいないかを明らかにすること、これが二点。

今回の調査は主にこの二点を明らかにする目的で実施されました。

調査も大詰めを迎え、調査の目的もほぼ達成されてきたので、ここに現地説明会を実施し、市民の皆さんにその成果を共有していただきたいと思います。

発掘調査の成果

ある程度内容が把握できる時代は、弘西小学校時代、江戸時代、弥生時代の三時期に大別されます。

調査目的の一つである「ひろせの郷」関連の内容はわかりませんでしたが、中世の水田層の存在は確認できました。また、弥生時代の溝も検出され、江戸時代以前は水田地であったと推定されます。

外堀に関しては、護岸の様子や樋尻・暗渠が検出され、また掘り上げた土で、土居を築いていたと思われる土層も確認されるなど大きな成果があがりました。土居幅なども限定できそうです。

各時代については、それぞれ下記の内容がわかりました。

検出遺構

1. 弘西小学校の時代

校舎基礎（明治・昭和）、井戸、焼夷弾着弾跡

2. 江戸時代

堀、土居、暗渠、樋尻跡、石組構、溝、屋敷跡地、ごみ穴

3. 弥生時代

溝

出土遺物

1. 弘西小学校の時代

石板、蠟石、瓦、焼夷弾残がい

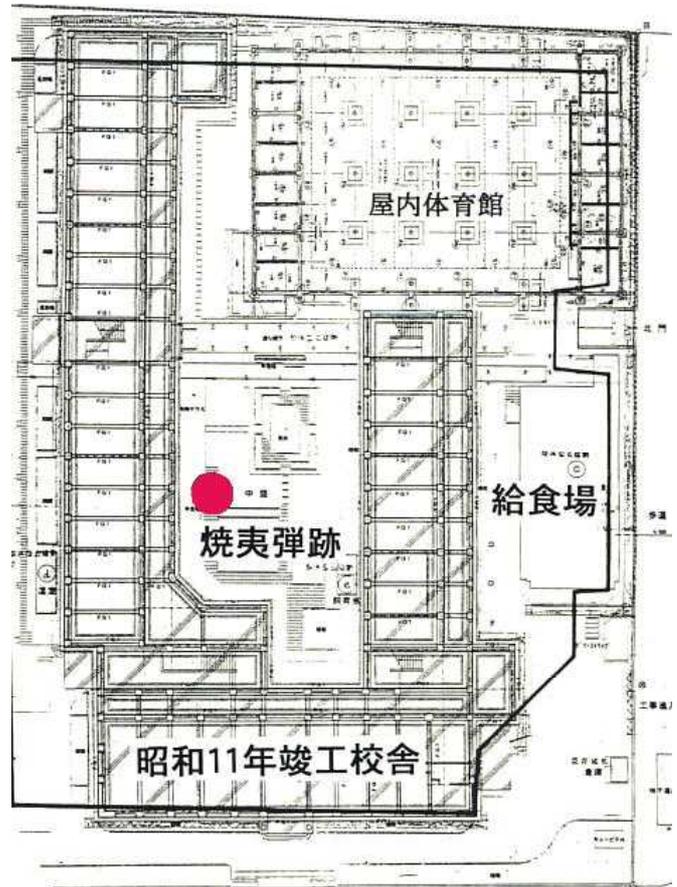
2. 江戸時代

唐津焼、伊万里焼、備前焼、碗、茶碗、土鍋、土瓶、ミニチュア土器、人形等、かんざし、煙管、ガラスピン、古銭、漆碗、樋等、木札

3. 弥生時代

土器、石鏃

調査区と弘西小学校旧建物基礎配置



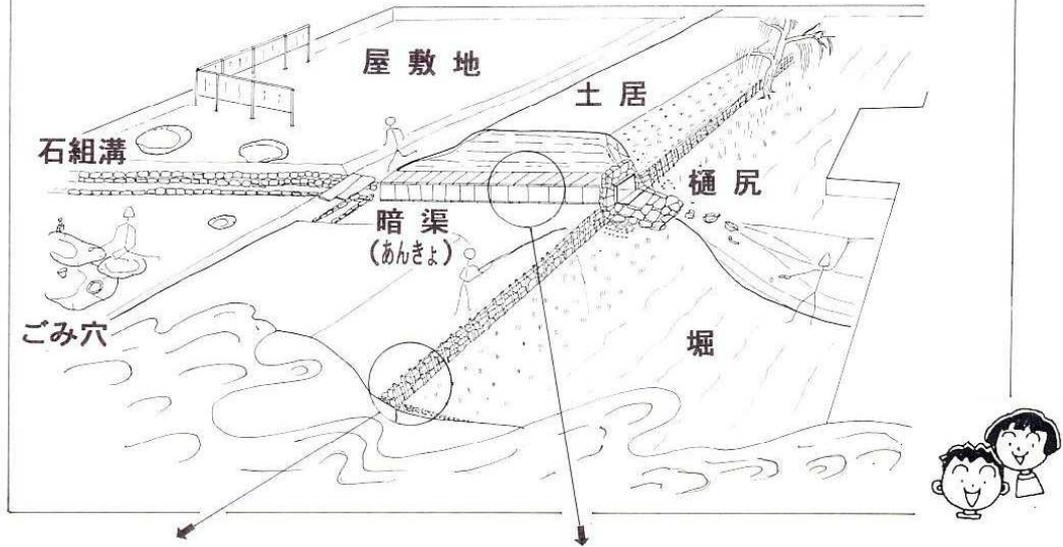
○明治43年5月竣工校舎

明治43年5月竣工の校舎

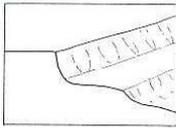
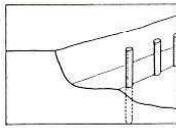
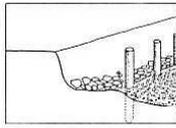
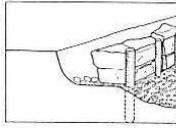
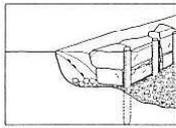
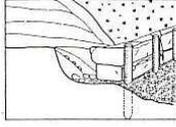
弘西小学校の沿革

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1877(明治10)年 | 「弘西小学校」と改称、弓之町の現在地に移転 |
| 1885(明治18)年12月 | 校舎全焼。瑞雲寺と浄覚寺で分散授業 |
| 1887(明治20)年 4月 | 学制改正、「尋常弘西小学校」と改称 |
| 1889(明治22)年 4月 | 校舎新築 |
| 1907(明治40)年 6月 | 校舎増築 |
| 1910(明治43)年 5月 | 校舎改築 |
| 1918(大正 7)年 | 校舎増築 |
| 1932(昭和 7)年 5月 | 校舎改築工事開始 |
| 1936(昭和11)年11月 | 校舎改築落成 |
| 1941(昭和16)年 4月 | 「岡山市立弘西国民学校」と改称 |
| 1947(昭和22)年 4月 | 「岡山市立弘西小学校」と改称 |
| 1958(昭和33)年 9月 | 図書館(弘友館)・給食場落成 |
| 1979(昭和54)年10月 | 屋内体操場・運動場倉庫落成 |
| 1983(昭和58)年 3月 | 校門・塀の改修 |
| 1988(昭和63)年 6月 | プール竣工 |
| 1993(平成 7)年12月 | 図書館改修 |
| 2002(平成14)年 | 校舎解体 |
| 2002(平成14)年12月 | 発掘調査開始 |

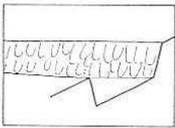
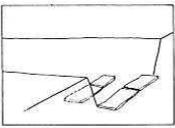
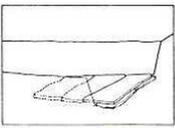
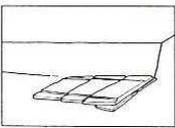
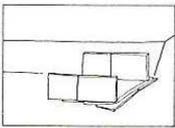
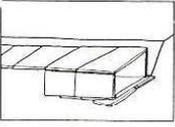
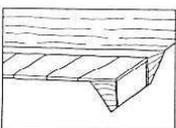
✧ 発掘調査でわかった 江戸時代 (1830年頃) の情景 ✧



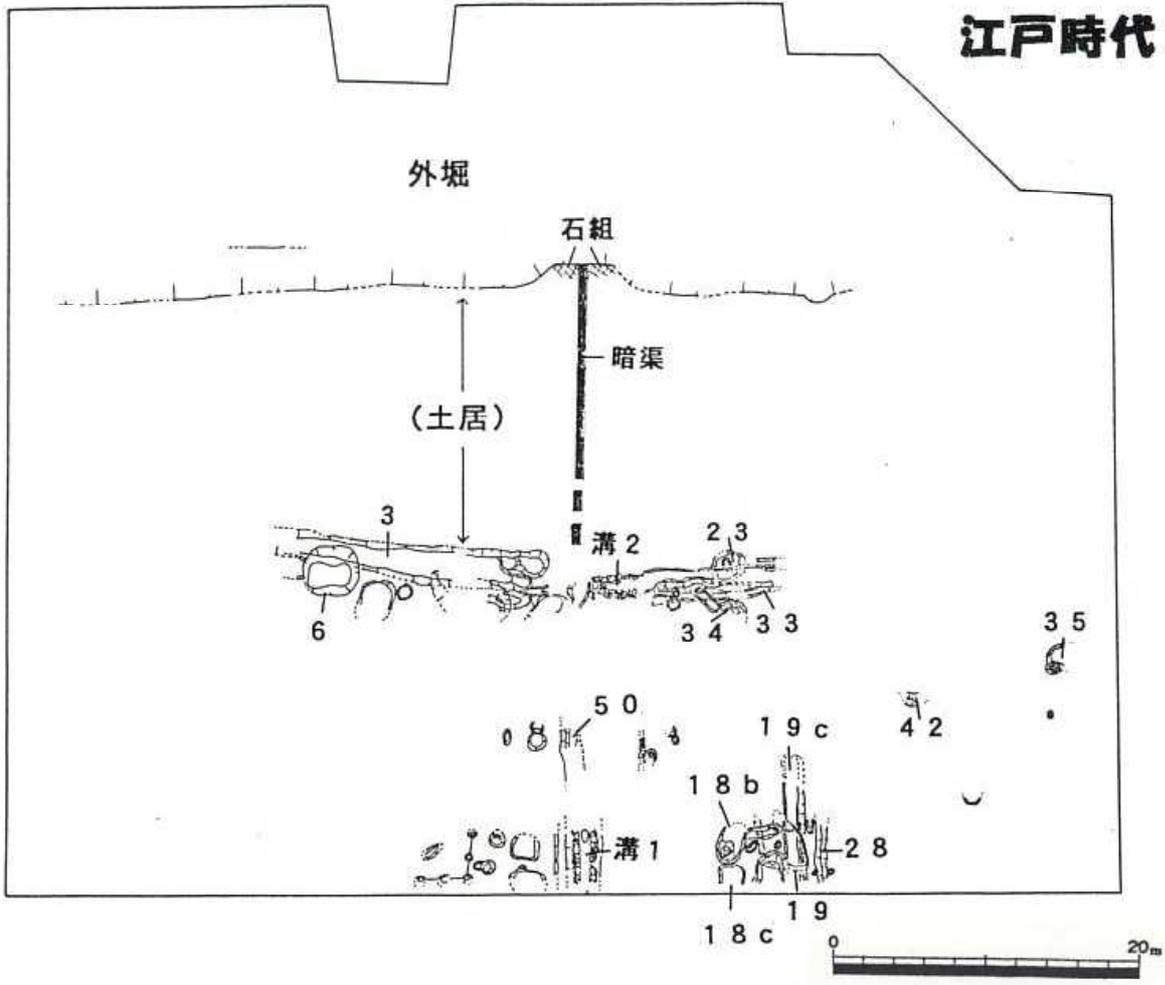
☺ 堀護岸の整備

1.  ・堀岸を掘削する。
2.  ・木杭を打つ。
3.  ・小石を敷く。
4.  ・石を積み並べる。
5.  ・裏込めを詰め、石の背後を埋める。
6.  ・土を盛り土居とする。斜面に芝を植える。

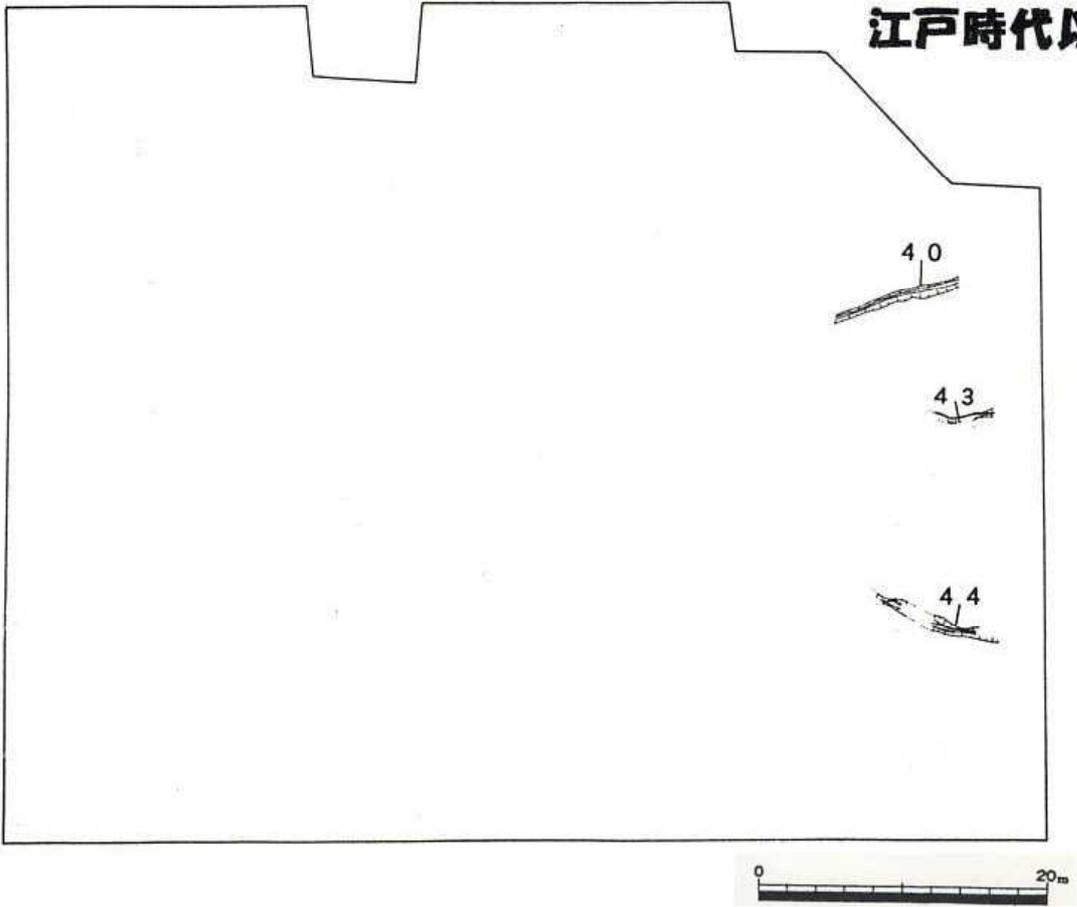
☺ 暗渠の施工

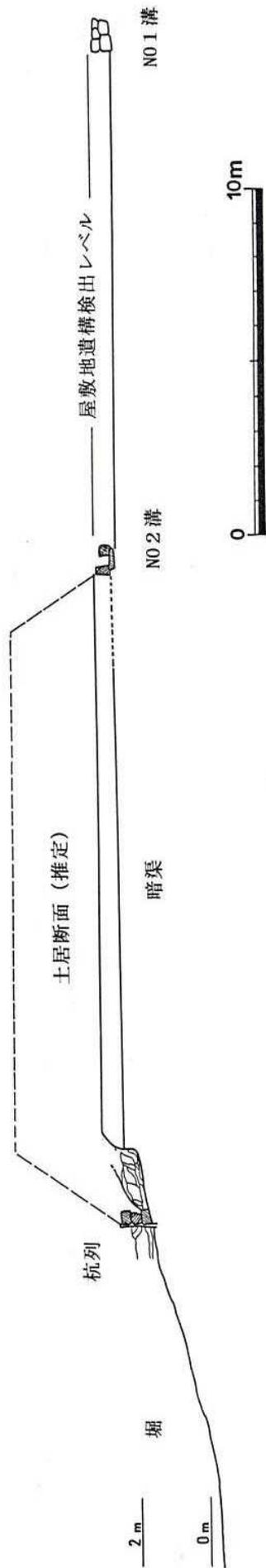
1.  ・土居を掘削する。
2.  ・基礎の石を置く。
3.  ・平石を並べ据える。
4.  ・平石に抉りを加工する。
5.  ・側石を据える。
6.  ・蓋石を置く。
7.  ・側に粘土を詰め、埋める。そして土を盛る。

江戸時代

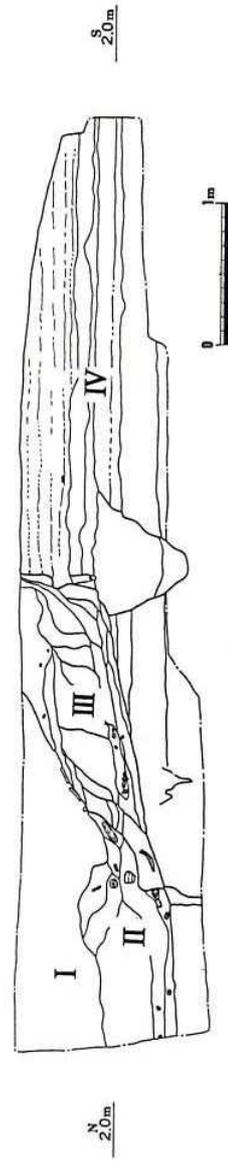


江戸時代以前

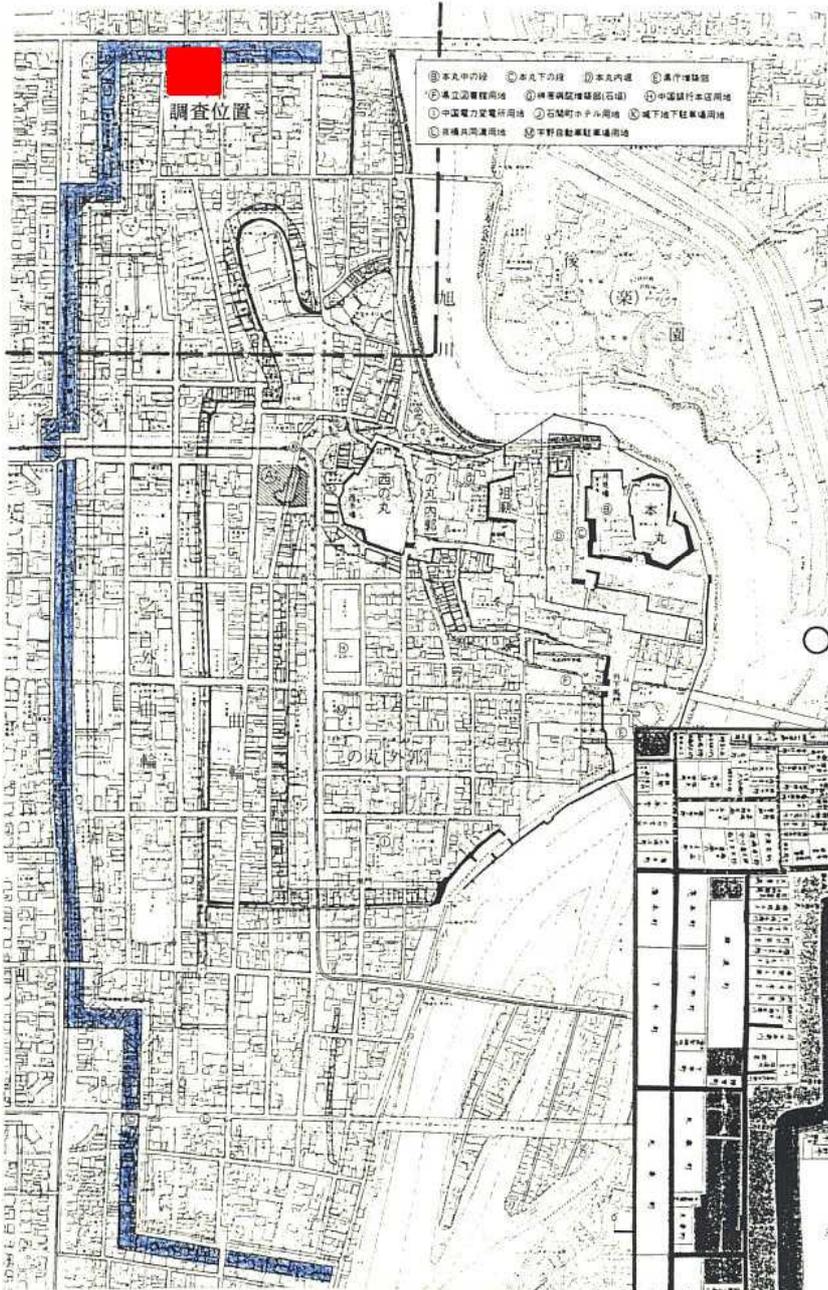




土居および調査区断面模式図



堀わき付近土層断面図

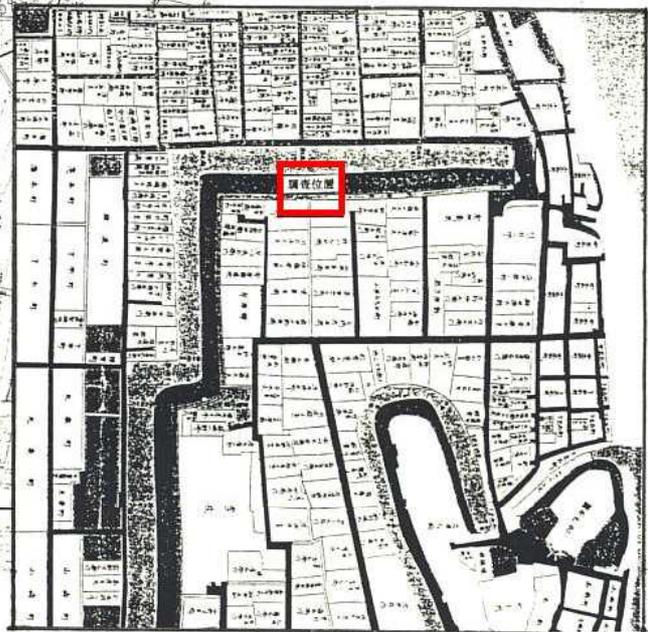


出典：乗岡実「岡山城三之曲輪跡」

200203

○「備前岡山地理家宅一枚図」

1861（文久元）年



○ 岡山城外堀・三之外曲輪関連の年譜

- 1601(慶長 6) 小早川秀秋 外堀（二十日堀）を掘る。
- 1653(承応 2) 旭川洪水（5月22日）、城内外被害多し。
- 1654(承応 3) 旭川大洪水（7月19日）、破損の城郭石垣を修理する。
- 1656(明暦 2) 承応の洪水で埋没した城堀を浚渫する（閏4月）。
- 1659(万治 2) 「備前国岡山城堀浚修復願絵図」（7月29日）
- 1672(寛文 12) 町奉行に命じて城堀の掃除を施行。
- 1673(寛文 13) 「備前国岡山城堀浚修復願絵図」（改）。
- 1673(延宝 1) 備前洪水（5月14日）、城内外の被害甚大。
7月18日、再び大洪水、被害甚大。
- 1673(延宝 7) 備前大風雨（7月10日）
- 1706(宝永 3)? 「岡山城下御堀埋り之絵図」
- 1724(享保 9) 「岡山城廻堀浚願絵図」
- 1736(元文 1) 「岡山城曲輪破損所絵図」
- 1737(元文 2) 「備前国岡山城石垣修復堀浚願絵図」
- 1788(天明 8) 「備前国岡山城石垣修復并堀浚願絵図」
- 1816(文化 13) 「備前国岡山城石垣土居修復并堀浚願絵図」
- 1818(文政 1) 「岡山城堀浚土居繕御普請出来絵図」
（文政1年5月～文政13年3月21日）
- 1875(明治 8) 外堀埋立。

樋尻

伊勢宮口御門外柵下土居○此印ヨリ西樋尻○乘迄長百八間損繕根通り杭打并裏石組上り平貳尺五寸扣貳尺上へ芝手法高平老間半扣平老間右御普請御入用一石才數三千貳百四十才此石出シ役五百四十人貳百五十六人石手役

一杭數六百四拾八本 但半田山御林渡り
 本口老尺三寸廻り長六尺
 杭打役根切役同取越役共

一土坪老百六拾貳坪 芝切持役土居繕土持込
 四百三拾八人 芝ツキ役共
 湯煖役小■役共

五拾八人 御役

合千六百三拾三人 同所御門外御堀詰ヨリ山崎町口外石橋詰迄御堀浚坪數并日用夫役賃銀札御入用

一舟掘數老万三千九百六拾七艘八分 坪■貳千七百九拾三坪五合六勺
 此舟掘夫 七千五百四人八分
 内 五千貳百五十七人 貳杯半ツツ
 貳千貳百貳拾人七分 平シ三杯三分三厘ツツ
 拾八人 貳杯半ツツ
 六拾九人老分 老杯半ツツ
 一歩掘五百三坪老合七勺老才 但老坪二付六人七分五厘掛ケ
 此掘夫 三千三百九拾六人 但老人二付
 老匆六分立

土坪合三千貳百九拾六坪六合七勺老才 外二 掘揚土持捨夫
 老万四千六百八拾七人六分五厘 湯煖夫
 千八百貳拾三人四分五厘 日用夫役

合貳万七千四百拾老入九分 此賃銀札
 貳拾三貫八百五拾九匁四厘 老番町尻御役二テ歩掘長七拾八間横平拾貳間八分三厘深平老尺三寸
 一土坪貳百拾六坪八合貳勺七才 但老坪二付拾老入四分老厘掛
 此御役 貳千四百七拾四人

岡山大学図書館蔵

○岡山城堀浚土居繕御普請出来絵図注記 (部分)

伊勢宮口御門外柵下土居○此印ヨリ西樋尻○乘迄長百八間損繕根通り杭打并裏石組上り平貳尺五寸扣貳尺上へ芝手法高平老間半扣平老間右御普請御入用一石才數三千貳百四十才此石出シ役五百四十人貳百五十六人石手役

一杭數六百四拾八本 但半田山御林渡り
 本口老尺三寸廻り長六尺
 杭打役根切役同取越役共

一土坪老百六拾貳坪 芝切持役土居繕土持込
 四百三拾八人 芝ツキ役共
 湯煖役小■役共

五拾八人 御役

合千六百三拾三人 同所御門外御堀詰ヨリ山崎町口外石橋詰迄御堀浚坪數并日用夫役賃銀札御入用

一舟掘數老万三千九百六拾七艘八分 坪■貳千七百九拾三坪五合六勺
 此舟掘夫 七千五百四人八分
 内 五千貳百五十七人 貳杯半ツツ
 貳千貳百貳拾人七分 平シ三杯三分三厘ツツ
 拾八人 貳杯半ツツ
 六拾九人老分 老杯半ツツ
 一歩掘五百三坪老合七勺老才 但老坪二付六人七分五厘掛ケ
 此掘夫 三千三百九拾六人 但老人二付
 老匆六分立

土坪合三千貳百九拾六坪六合七勺老才 外二 掘揚土持捨夫
 老万四千六百八拾七人六分五厘 湯煖夫
 千八百貳拾三人四分五厘 日用夫役

合貳万七千四百拾老入九分 此賃銀札
 貳拾三貫八百五拾九匁四厘 老番町尻御役二テ歩掘長七拾八間横平拾貳間八分三厘深平老尺三寸
 一土坪貳百拾六坪八合貳勺七才 但老坪二付拾老入四分老厘掛
 此御役 貳千四百七拾四人